

令和3年8月17日
公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
東京都渋谷公園通りギャラリー

鑑賞者の想像する力を借りて、独自の鑑賞体験が立ち上がる展覧会

展覧会「語りの複数性」開催のお知らせ

見ることや聴くことは、受け取る人がいて初めてそこに現れるという意味で、その人が語ることであります。物事を受け取り表現する方法は、ひとつではありません。視覚を使わずに見る人、手話を使って話す人がいるように、人の身体の数だけ、“語り”はさまざまに存在します。それは、限られた人の特殊な方法ではなく、本当は誰もが持っている、自分と異なる他者や物事とともに生きるための能力と言えるでしょう。

この一年半ほどの間、未知の世界に偶然足を踏み入れることや他人と肩を並べる時間が減ったことは、私たちの身体を大きく変容させました。この展覧会では、そこにはないものを自分の経験として受け取り、表現するさまざまな試みを描いた作品を扱います。それらの作品を通して、訪れる人の想像する力を借りて、鑑賞することがそれぞれの独自の体験として立ち上がる場をつくります。

本展が美術展への初参加となる小島美羽は、これまでに制作してきた孤独死を扱った模型作品を出品。映画『うたのはじまり』の絵字幕で注目を集めた小指（小林紗織）は、25mに及ぶ自分史を譜面に落とした新作を発表します。それらをはじめ、8人の作家による写真、絵画、模型、絵字幕、映像、音といったさまざまな形態の作品を、中山英之建築設計事務所による会場構成で届けます。情報が溢れるからこそ貧しくなっていた、さまざまな語りのあり方と、その語りを紡ぎ出す身体を想像する展覧会です。



展覧会概要

展覧会名：語りの複数性

会期：2021年10月9日(土)~12月26日(日)

開館時間：11:00-19:00

休館日：月曜日

会場：東京都渋谷公園通りギャラリー 展示室1、2
及び交流スペース

入場料：無料

出展作家：大森克己、岡崎莉望、川内倫子、小島美羽、
小林紗織、百瀬文、山崎阿弥、山本高之

主催：(公財)東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
東京都渋谷公園通りギャラリー

*開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

*百瀬文の作品は、30分毎の入れ替え制で上映します(毎時0分/30分開始、上映時間25分)。途中入場はいただけません。



■作家プロフィール

大森克己 (おおもり かつみ)

写真家。近年の主な個展に「sounds and things」(MEM、2014年)、「山の音」(テラススクエア、2018年)、参加したグループ展に「GARDENS OF THE WORLD」(Museum Rietberg、2016年)などがある。主な写真集に『サナヨラ』(愛育社、2006年)、『すべては初めて起こる』(マッチアンドカンパニー、2011年)、『心眼 柳家権太楼』(平凡社、2020年)など。

岡崎莉望 (おかざき まりの)

1988年愛知県生まれ、北海道在住。共感覚があり、感じ、視覚化されるものをそのまま描いている。ギャラリー門馬 ANNEX (2015年)、ギャラリー門馬 (2018年)にて個展開催。参加したグループ展に「アール・ブリュット作品全国公募展」(2015年)、日本のアール・ブリュット「KOMOREBI」展 (2017年)、第6/7回全国公募「ドローイングとは何か」展入賞入選作品展 (2016、2018年)など。

川内倫子 (かわうち りんこ)

写真家。1972年滋賀県生まれ。2002年『うたたね』『花火』の2冊で第27回木村伊兵衛写真賞を受賞。著作に『あめつち』(青幻舎、2013年)、『Halo』(HeHe、2017年)など。国内外で多数の個展・グループ展を開催。近刊に写真集『Des oiseaux』(HeHe、2021年)がある。10月中旬に『Illuminance: The Tenth Anniversary Edition』をtorch pressより刊行予定。

小島美羽 (こじま みゆ)

1992年埼玉県生まれ。2014年に遺品整理クリーンサービス(株式会社ToDo-company)に所属し、遺品整理やゴミ屋敷の清掃、自宅死(孤独死)や殺人、自殺などの現場の特殊清掃に従事する。孤独死の現場を再現したミニチュアを2016年から独学で制作開始し、国内外のメディアやSNSで話題となる。

小林紗織 (こばやし さおり)

1988年神奈川県生まれ。武蔵野美術大学デザイン情報学科を卒業後、音楽を聴き浮かんだ情景を五線譜に描き視覚化する試み「score drawing」の制作を開始。映画におけるろう者の方のための絵字幕の作成など、音にまつわる制作を行う。

百瀬 文 (ももせ あや)

アーティスト。映像によって映像の構造を再考させる自己言及的な方法論を用いながら、他者とのコミュニケーションの複層性を扱う。主な個展に「I.C.A.N.S.E.E.Y.O.U」(EFAG、2019年)、「サンプルボイス」(横浜美術館アートギャラリー1、2014年)、主なグループ展に「彼女たちは歌う」(東京藝術大学大学美術館陳列館、2020年)、「六本木クロッシング2016展：僕の身体、あなたの声」(森美術館、2016年)など。

山崎阿弥 (やまさき あみ)

声のアーティスト。反響定位に近い方法で捉えた空間の音響的な陰影をパフォーマンスやインスタレーションによって変容させ、世界がどのように生成されているのかを問い続けている。2022年は「KYOTO STEAM 2022」(京都市京セラ美術館)「JAPAN. BODY_PERFORM_LIVE」(ミラノ現代美術館)に出演。



山本高之（やまもと たかゆき）

アーティスト。1974年愛知県生まれ。子どもの会話や遊びに潜在する創造的な感性を通じて、普段は意識することのない制度や慣習の特殊性や個人と社会の関係性を描き出す。主な展覧会に「ゴー・ビトゥイーンズ展：子どもを通して見る世界」（森美術館ほか、2014-15年）、「山本高之とアーツ前橋のビヨンド 20XX 未来を考えるための教室」（アーツ前橋、2019年）など。

関連イベント

■ プレトーク

本展企画者と会場構成を担当する建築家の中山英之氏が、展覧会のコンセプトや会場構成について話します。

9月オンラインにて公開予定

■ アーティストトーク

出展作家に、作品や制作についてうかがいます。

会期中にオンラインにて公開予定

■ 学芸員によるギャラリートーク

本展企画者が作品解説を行います。

会期中に開催予定

※その他、読書会などを予定しています。開催・公開日などの詳細は、当ギャラリーWebサイト (<http://inclusion-art.jp>) にて随時お知らせいたします。

アクセシビリティ

鑑賞にあたり音声ガイドやテキスト配布のほか、より多くの方たちに展覧会を味わって頂くためのツールを会場にて貸し出し致します。

お問い合わせ

東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当

((公財)東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-19-8

Tel:03-5422-3151 E-mail:inclusion@mot-art.jp

東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当 行

Fax: 03-3464-5241 E-mail: inclusion@mot-art.jp

取材および広報用画像について

本展覧会の取材を希望される場合は、本紙に必要事項をご記入の上、FAXまたはEメールにてお申し込みください。
また、本展覧会の広報用素材として**8点**の画像をご用意しております。希望されます場合は、画像番号をご記入の上、お申し込みください。

取材希望

画像使用希望

取材希望日時：

使用希望画像：

貴社名：

貴媒体名：

種別： TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー ネット媒体 携帯媒体 その他
○印をお付けください

発行・放送予定日：

ご担当者名：

Eメールアドレス：

ご住所： (〒)

お電話番号：

F A X：

その他：

なお、取材および写真使用に際しましては、以下のことをお願いしております。

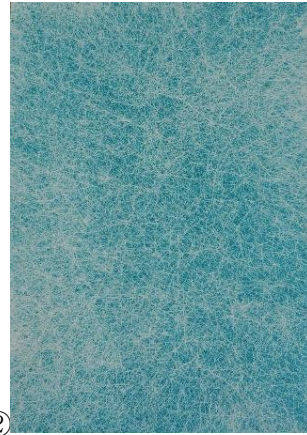
- ① キャプションは、作家名、作品名、制作年、コピーライト等を必ず表記してください。
- ② 作品画像のトリミング、文字載せはご遠慮ください。
- ③ 本展を紹介いただく場合には、恐れ入りますが掲載誌(紙)、DVD、CD等をご提供ください。

広報用画像一覧（出展作とは異なる場合があります(順不同)）



①

大森克己《心眼 柳家権太楼》（2019年）



②

岡崎莉望《目》（2014年）



③

川内倫子《はじまりのひ》（2018年）



④

小島美羽《終の棲家》（2019年）写真：加藤甫



⑤

小林紗織 映画『うたのはじまり』絵字幕（2019年）

* 参考画像



⑥

百瀬文《聞こえない木下さんに聞きたいいくつかのこと》
（2013年）



⑦

山崎阿弥《島膜_Ibuki》（瀬戸内国際芸術祭 2019）

* 参考画像



⑧

山本高之《悪夢の続き》（2020年）

■ 東京都渋谷公園通りギャラリーとは

2020年2月にグランドオープンした当ギャラリーは、アール・ブリュット等の振興拠点として、アートを通して、ダイバーシティの理解促進や包容力のある共生社会の実現に寄与するため、アール・ブリュット等をはじめとするさまざまな作品の展示や、新設した交流スペースを活用した対話的で創造的な交流プログラムを展開しております。



お問合せ／お申込み

東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当

((公財)東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

Tel: 03-5422-3151

Fax: 03-3464-5241

E-mail: inclusion@mot-art.jp

URL: <https://inclusion-art.jp>